

# 六稜舎報

## CONTENTS

- 02 会長挨拶
- 03 名誉会長挨拶
- 04 会計報告
- 06 東京六稜会  
第53回総会ご報告
- 09 東西講演会比較  
・六稜トークリレー  
・東京六稜倶楽部
- 10 FR委[報告]
- 16 中津から十三へ
- 25 母校の窓  
・北野高校国際交流  
・文化活動振興賞授与について  
・大学合格者・就職者数一覧  
・教職員異動
- 29 事務局だより  
・理事会報告  
・年会費納入状況
- 30 六稜文庫、六稜グッズ
- 31 六稜短信  
会報発送一時停止
  
- Party Reports
- 11 六稜観梅会  
北野中学記念碑の会  
岡山六稜会だより  
六稜ラグビー部  
トークリレー  
河原剛先生を偲ぶ会  
62期同窓会報告  
67期55周年記念総会  
75歳のコーラス  
80期やっとう会報告  
95期同窓会報告  
96期学び舎に紡ぐ縁  
110期同窓会報告  
102期同窓会報告  
期別対抗ゴルフ  
クラブ対抗ゴルフ

55  
2010.9.1



# “寄ってたかって状態” つくってみませんか —2期目続投にあたって—

六稜同窓会 会長 山本 雅 弘 (71期)



この4月から2期目の2年間続投させてもらうことになりました。続投にあたって常任理事の皆さんにも引き続きご一緒いただくようお願いし、心よくお受けいただきました。会員の皆さん、より豊かな六稜同窓会のために、一層のご協力をお願いいたします。

ところで、当会の活動は他校に比べてすいぶん活発だと、他の府立高校で小生と同じような立場の人たちから云われています。たいへん誇らしいのですが、活発なわりには、少人数の人たちの力に頼りがちになっているように思われます。活動が活発になって行く過程でよく見受けられる現象と云えますが、今後さらに維持、発展させるためには、より多くの人達の知恵と力が必要ではないでしょうか。つまり、同窓会活動というのは、本来皆んなで寄ってたかってわいわいと賑やかにやっている—そんなイメージのものであろうと、こんな認識に、この数年の経験でたどりついてます。会員の皆さんがそれぞれの実生活をちょっと離れて、こころ豊かに憩う“プラスの場”でありたい。そんな想いです。

このところ、不安定な経済情勢のせいもあって、年会費の納入状況がよくありません。常任理事会では納入を促すための方法について、議論を重ねていますが、基本のところは、会員の皆さんが年間3000円、月になおすと250円の支出を“なるほどコリャ値打ちがあるゾ”と思ってもらえるような活動が展開されることでしょう。

こうした現状認識のもとに、副会長、常任理事、学年理事の皆さんと協議のうえ、各委員会と事務局の活動の整備と組織のありようについて検討に入ることとしました。

検討のポイントとしては

- (1) 各委員会の活動に必要な知識と人数を集める。  
つまり“寄ってたかって状態”をつくり出す。
- (2) その質と量しだいで、活動毎の部会をつくる。  
たとえば広報委員会はWEBと会報編集に、催事委員会は毎月のトークリレー開催のため

の幅広い情報収集と告知、運営に、FR委員会は若い会員の積極的な参入を促すために。

- (3) 各委員会に副委員長を設け、常任理事会には正副いずれかが出席。

つねに委員会活動の情報が常任理事会で共有され、意見交換がなされるように。

- (4) 事務局体制と活動のあり方を考える。

事務局は日常活動の中心部。とすると、現在の週3日体制でよいのか。業務内容とスタッフの人数、そのための人件費の問題等々。

- (5) 学年理事のあり方について。

学年理事は各期の活動の中心であり、理事会での全体情報の伝達役。つまり、タテヨコの流れの軸。したがってその役割りを、より充実させるために、委員会に所属してもらうことを検討。

- (6) 学校との連携をより密にするには。

同窓会活動にとって、現役の生徒、先生との連携および支援は大きなテーマ。現状をさらに進めるための具体策の検討。

進め方としては

- (1) 必要なところ、できるところから、いつでも。
- (2) 各委員会の検討の場に、できるだけ小生が参加させてもらいたい。
- (3) ケースによっては事務局長も参加。
- (4) 常任理事会、理事会で進捗状況を報告して情報を共有する。

こんなことで4月以来各所で話し合いを重ねています。

会員の皆さんは、さまざまな分野で活躍されておられると思いますので、ぜひ、ちょっと一息ついて、同窓会活動の“寄ってたかって”の輪の中にご参加のうえ、ご自身の豊富な経験をほんの少し生かしていただければ幸いです。

ぼつぼつあちこちでお声掛けをはじめますので、その際にはよろしくお願いいたします。

# 滑らかとジグザグ

六稜同窓会 名誉会長 八尾 隆



北野高校教諭時代の教え子、N君から電話があったのは、私が再び北野高校に着任させていただく少し前、3月のことでした。

「八尾先生、K大医学部に受かりました。」嬉しいような彼の報告に、私は驚きました。

私が彼の数学を担当したのは1年生の時。その後私は転勤しましたが、彼は北野を卒業後、家庭の事情で就職。十年近く経ってから退職し、大学に進学するも、更に第一志望校をめざして受験勉強をしないおす予定と年賀状でのやりとりで聞いていました。見事にその夢を実現させたと知って驚いたのです。

彼は私のところにも本当によく質問にやってきました。当時の彼は決して飲み込みが早い方ではなかったのですが、理解しようとする執念は人一倍強い努力家でした。

真っ直ぐだけが人生じゃない、少々回り道しても目標を失っては駄目。生徒たちには日頃からそう話していたものの、改めて六稜魂のたくましさを感じる嬉しい報告でした。

以下は、今春の卒業式での私の拙い式辞の概要の一部です。

卒業式の一月ほど前、新幹線でパンタグラフはすれて架線を切断し、電車がストップする事故がありましたが、それに絡めてパンタグラフと架線の話を取り上げたのです。

『電気を供給する架線（トロリー線）は、高速で動くパンタグラフとの摩擦がすさまじく、すり減ることは容易に想像できます。しかし、トロリー線は頻繁に張り替えられないので、時間と人手や費用の節約を考慮し、パンタグラフ（正確にはその上に取り付けられた「すり板」と呼ばれるトロリー線との接触部分）を削られやすい材質で作る、それを適宜交換するように工夫されているそうです。

プラスとマイナスの電気の供給場所のもう一方はレール。電気を供給するだけのトロリー線とは違って、レールには乗り心地を保ち、スピードを出せるよう、滑らかに敷設することが重要です。反対にトロリー線は、わずかながら意図的にジグ

ザグに張られているそうです。

ジグザグにすることで、トロリー線がすり板と接する部分が分散、すり板の交換時期を延ばすことができるのです。

この話から私は二つのことを感じ取りました。

一つは、役割分担の必要性。世の中はどんどん進化し、専門化しています。一人で何もかもできるという時代ではありません。レールとパンタグラフやトロリー線のように役割を分担することが大切。また、その役割をお互いにしっかりと理解し合うチームワークも不可欠です。

もう一つは、ジグザグも時には有効だということ。卒業生の皆さんが今後歩まれる道は、専門分野に進めば進むほど、特定のことに集中して取組まなければならないことが多くなると思われます。しかし、ひたすら真っ直ぐに進むだけではなく、時にはジグザグで回り道のように感じたとしても、客観的に眺め直すことも忘れないでほしいのです。回り道や失敗を恐れず、違った角度から考えてみることで、さらに効率的な考えや、幅広い考えが浮かぶこともあると私は感じています。』

式後、卒業生で本校の非常勤講師でもあったTさんがこう語ってくれました。

「今日のお話、まさしく私ですね。私の人生もジグザグで、今改めて（自分の本当にやりたい道をめざして）やり直しています。」

彼女を教えられた先生方によると、順風満帆に見える彼女ですが、ご本人としては回り道をして念願の大学院に通っているそうで、そう語る目には美しく輝くものを感じました。

滑らかとジグザグ、自分の発した言葉の重みを改めて感じさせてくれる北野高校です。

最後になりましたが、同窓会の会員の皆様には、平素から母校の教育振興と発展のため物心あらゆる面で格別のご支援とご協力を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。六稜同窓会のご発展さらに皆様方のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げ、ごあいさつといたします。

# 会 計 報 告

## 平成21年度 六稜同窓会一般会計決算報告

自：平成21年4月1日

至：平成22年3月31日

(円)

	平成21年度予算	平成21年度決算	備 考
<b>収 入 の 部</b>			
1 入会金収入	960,000	939,000	313名×3,000円
2 年会費収入	24,000,000	17,329,100	5,781名
3 総会費収入	600,000	563,000	
4 寄付金収入	0	32,000	
5 利 息 収 入	0	2,760	
6 会館維持協力金	1,000,000	557,300	
7 同窓会記念品等売上	500,000	538,989	
収 入 合 計	27,060,000	19,962,149	
<b>支 出 の 部</b>			
1 運 営 費	13,750,000	12,120,798	
(1) 人件費	7,000,000	6,926,658	
(2) 旅費・交通費	1,100,000	918,830	
(3) 通信費	450,000	355,354	
(4) 印刷・事務用品費	1,500,000	981,359	
(5) 什器・備品	100,000	84,155	
(6) 会議費	100,000	45,020	
(7) 総会費	1,500,000	1,295,164	
(8) 慶弔費	400,000	259,750	
(9) 会費払込手数料	900,000	819,129	
(10) 同窓会記念品制作費	200,000	206,220	
(11) 雑 費	500,000	229,159	
2 広 報 費	7,500,000	7,881,971	
(1) WEB関連費	1,000,000	1,087,260	
(2) 会報発行関連費	6,000,000	5,509,529	
(3) 広報全般経費	500,000	1,285,182	
3 全国大会出場援助費	300,000	130,000	
4 各種事業援助費	1,600,000	689,895	
5 教育環境整備援助費	1,200,000	1,000,000	
6 同窓会館関連費	1,700,000	1,475,646	
(1) 什器備品・設備費	200,000	84,630	
(2) 光熱費	1,300,000	1,166,316	
(3) 設備管理費	200,000	224,700	
7 予 備 費	1,010,000	0	
支 出 合 計	27,060,000	23,298,310	
本年度収支差額	0	△ 3,336,161	
基金会計積立金	0	0	
年会費前年前受	△ 8,473,130	△ 8,473,130	
次年度年会費前受	8,500,000	8,457,000	
前年度繰越金	9,270,767	9,270,767	
次年度繰越金	9,297,637	5,918,476	

以上の通り平成21年度一般会計報告を致します。

平成22年4月19日 六稜同窓会会長 山本 雅弘

上記一般会計報告は正確であることを認めます。

平成22年4月19日 六稜同窓会監事 北浦 康弘

六稜同窓会監事 鈴木 基史



## 平成21年度 六稜同窓会名簿会計決算報告

自：平成21年4月1日 至：平成22年3月31日 (円)

科 目	(第3年度)自平成21年4月1日 至平成22年3月31日	(累計)自平成19年4月1日 至平成22年3月31日	摘 要
<b>収入の部</b>			
1 販売高	310,000	4,490,000	1,084冊
2 広告代	0	1,160,000	
収入合計	310,000	5,650,000	
<b>支出の部</b>			
1 名簿印刷代	0	3,115,255	シーズクリエイト1,500冊
2 発送費用	26,700	406,488	福山通運他
3 後納郵便料	0	332,345	郵便事業
4 返信用葉書印刷	0	99,600	ひかり工房
5 校正等件数費	0	934,650	アルバイト
6 交通費	0	61,680	アルバイト
7 雑 費	0	38,325	フォト・シー・コーポ他
8 基金会計へ繰入	661,657	661,657	
支出合計	688,357	5,650,000	
本年度収支差額	△378,357		
前年度繰越金	378,357		

(注) 135周年名簿3月末在庫残高 345冊  
以上の通り平成21年度名簿会計報告を致します。

平成22年4月19日 六稜同窓会会長 山本 雅弘  
上記名簿会計報告は正確であることを認めます。

平成22年4月19日 六稜同窓会監事 北浦 康弘  
六稜同窓会監事 鈴木 基史

## 平成21年度 六稜同窓会基金会計決算報告

自：平成21年4月1日 至：平成22年3月31日 (円)

科 目	決 算	摘 要
<b>収入の部</b>		
1 利息収入等	24,939	
2 名簿会計より	661,657	
収入合計	686,596	
<b>支出の部</b>		
1 残高証明手数料	420	
2 振込手数料	900	
支出合計	1,320	
本年度収支差額	685,276	
前年度繰越金	21,681,153	三井住友スーパー 定期・りそな定期・郵便貯金・他
次年度繰越金	22,366,429	

以上の通り平成21年度基金会計報告を致します。

平成22年4月19日 六稜同窓会会長 山本 雅弘  
上記基金会計報告は正確であることを認めます。

平成22年4月19日 六稜同窓会監事 北浦 康弘  
六稜同窓会監事 鈴木 基史

## 平成22年度 六稜同窓会 一般会計予算

自：平成22年4月1日 至：平成23年3月31日 (円)

科 目	平成22年度予算
<b>収入の部</b>	
1 入会金収入	960,000
2 年会費収入	21,000,000
3 総会費収入	800,000
4 利息収入	0
5 会館維持協力金	1,000,000
6 同窓会記念品等売上	300,000
収入合計	24,060,000
<b>支出の部</b>	
1 運営費	12,650,000
(1) 事務局費	6,800,000
(2) 旅費・交通費	1,000,000
(3) 通信費	450,000
(4) 印刷・事務用品費	1,200,000
(5) 什器・備品	100,000
(6) 会議費	100,000
(7) 総会費	1,100,000
(8) 慶弔費	400,000
(9) 会費払込手数料	800,000
(10) 同窓会記念品制作費	200,000
(11) 雑 費	500,000
2 広報費	6,900,000
(1) WEB関連費	600,000
(2) 会報発行関連費	5,800,000
(3) 広報全般経費	500,000
3 全国大会出場援助費	200,000
4 各種事業援助費	800,000
5 教育環境整備援助費	1,000,000
6 同窓会館関連費	2,200,000
(1) 什器備品・設備費	200,000
(2) 光熱費	1,300,000
(3) 設備管理費	700,000
7 予備費	310,000
支出合計	24,060,000
本年度収支差額	0
年会費前年受	△ 8,457,000
次年度年会費前受収入	8,500,000
前年度繰越金	5,918,476
次年度繰越金	5,961,476

# 東京六稜会 第53回総会のご報告

造力由美、原田雅己（91期）



東京六稜会第53回総会が6月19日（土）に東京・神保町の学士会館で開催されました。梅雨入り宣言がなされたばかりでしたが、幸い雨はあがり、220名もの同窓生が一堂に会しました。

## 【第一部 総会】

総会は、定刻の13:00から岩下智昭さん（91期）の司会で始まりました。最初に志甫博・東京六稜会会長（60期）から、今年度は、最年長（49期）から最年少（122期）まで73歳差の三世代に亘る北野同窓生が、



総会司会の岩下さん

世代を超えて相互理解を深めることができる総会になってほしいとのご挨拶がありました。

ご来賓の八尾隆・北野高校校長からは、来年度から普通科に加えて文理学科が併設されることの

ご報告と、教師は生徒に対してある時は強い振動を和らげ、またある時は弱い振動を増幅させ励ます「バネ」のような存在でありたいというお話を、山本雅弘・六稜同窓会会長（71期）からは委員会拡充の必要性についてお話をいただきました。最後に、黒岩瑛一・東京六稜会事務局長（75期）から、今年度の役員体制、会計等についてのお話があり、常任幹事増員（21名→36名）の報告がなされました。その後、志甫会長再任の提案があり、一同の拍手をもって承認がなされました。

## 【第二部 講演】

総会に続いて、小澤一雅君（91期）による講演が行われました。小澤君は高校時代サッカー部に所属し、卒業後は東京大学工学部に進学、土木工学科コンクリート研究室で研究を始め、現在は同大学工学系研究科教授を務めています。「変貌する社会基盤整備と大学における人材育成～インフラチームジャパンを世界へ～」の演題で、時



東京六稜会  
志甫博会長



六稜同窓会名誉会長  
八尾隆校長



六稜同窓会  
山本雅弘会長



東京六稜会  
黒岩瑛一事務局長



小澤一雅教授による講演  
「変貌する社会基盤整備と大学における人材育成」

代とともに社会基盤整備が移り変わる中、大学の研究と教育がどのように変遷してきたかについて講演をしてくださいました。

小澤君は熟練技術者による「締め固め作業」を行う必要のない画期的な「自己充填コンクリート」の開発に成功しますが、どんなに技術的に良いものを開発しても、国内でなかなか普及しないという課題に突き当たります。新技術の活用のために公共事業に関わるマネジメントや明治時代から続く法令・諸制度の研究に転換しますが、最終的に最も重要なのは人材育成だと考え、若手の育成に力を入れることになります。現在、小澤君の研究室では「ケースメソッド」という疑似体験を取り入れた教育を行い、国際的に通用する人材の育成に力を注いでいます。講演の最後はサッカー部出身の小澤君らしく、南アフリカで開催中のW杯サムライジャパンのゴールシーンと以下のメッセージで締めくくりました。「がんばれ日本、誇りと自信を持って、新たな挑戦を！」

### 【第三部 懇親会】懇親

会の司会は宇津木紀子さん（91期）です。独特の間合いと額に六稜の星をつける準備運動で参加者全員をひきつけたあと、ご来賓の八尾校長、山本会長、黒



懇親会司会の宇津木さん

田真樹・北野高校教諭（94期）、富田昌宏・常任理事（78期）、木村市三・事務局長（73期）、久保田静・事務局（73期）のご紹介がありました。



こも樽「六稜」の鏡開き



中村典美さんによる乾杯

続いて「ヨイショ、ヨイショ、ヨイショー！」の掛け声で、「こも樽「六稜」」の鏡開きが行われ、最年長の中村典美さん（49期）から力強い乾杯のご発声を頂きました。

大阪から駆けつけてくれた8名を含む今年の幹事当番（91期）46名は「全員でおもてなし」を合言葉に、ご年配の先輩方には食事・飲み物を運び、若い世代や同期の人数が少ないテーブルには、中に加わって一緒にお話をするよう心がけました。



料理皿にも六稜の星

また気がつかれた方も多いと思いますが、お料理の下には「東京六稜会」の文字と「六稜の

星」が大きくデザインされていました。これは学士会館の担当者の方がサプライズ・サービスとして用意してくれたものです。この粋な計らいも日頃の六稜会事務局の方々が生かされた会館との信頼関係があったからこそだと思います。



腕章をつけた幹事当番





若手アワーで登壇した皆さん

新入会員の末澤貴大さん（122期）、若松佑輝さん（122期）の紹介のあとは、篠田真美さん（91期）と岡本元君（91期）の司会進行による「若手アワー」です。幅広い世代が集まる懇親会で若い世代からも発信してもらおう機会を作りたいという事務局の希望で、今回初めて試みた企画です。102期から120期までの若手に登壇していただき、興味を持っている分野について話をしてもらいました。先輩方からはこれに呼応する形で、経験談や励ましのお言葉をいただき、若手と先輩方との



吉田さんの弾き語り

コミュニケーションを実現することができました。

熱気溢れる若手アワーのあとは、アメリカから帰国したシンガーソングライター 吉田昌代さん（91期）のピアノ弾き語りです。自作曲“OSAKA”の「それでも大阪、やっぱり大阪、大好き大阪・・・」のフレーズは六稜同窓生の琴線に触れるものになりました。先輩方からの

リクエストも出て、和やかなムードが広がる中、「翼をください」の合唱で盛り上がりは最高潮に達します。

懇親会も終盤を迎え、今年度の幹



櫛を引き継ぐ幹事代表



若手パワーに注目する先輩方

事代表・三浦泰夫君から来年度の幹事代表・羽田野達夫さん（92期）に櫛が引き継がれました。



エールを切る佐々木君

ところで懇親会はお開きとなりました。

恒例の校歌斉唱では竹村二郎さん（73期）に続いて佐々木功君（91期応援団長）がエールを切り、吉田さんのピアノ伴奏の中、出席者全員が世代を超えて肩を組んで北野高校校歌を斉唱し、会場が一体感に包まれたと

来年の総会は6月3日（金）夕刻に、学生会館で開催される予定です。今年度は、小澤君の講演内容を始め、若手にスポットを当てた企画に挑戦した総会でしたが、皆様のご協力で無事に終了することができました。東京六稜会、そして当日一緒に会を盛り上げてくださいました参加者の皆様お一人おひとりに、心から感謝を申し上げます。



全員が一体となった校歌斉唱

（写真担当：米浪誠・福本則浩）



# 六稜トークリレー

Rikuryo Talk Relay

<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

# 東京六稜倶楽部

<http://rikuryo.or.jp/tokyo/rikuryo-club/>

日 時★原則、毎月(第1)土曜日

13:30開場 14:00開演(約2時間)

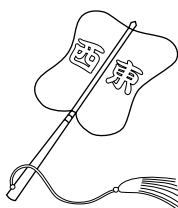
会 場★六稜ホール(六稜会館3F)

※1Fロビーも同時使用可

会 費★500円(お飲み物を準備しています)

主 催★六稜会館催事委員会

共 催★各期同期会 or クラブOB/OG会など



毎月第3水曜日★日 時

11:00開場 11:30開演(約2.5時間)

ライオン銀座クラシックホール★会 場

(銀座ライオン7丁目店6F)

2,000円(ランチバイキング付)★会 費

東京六稜会★主 催

松本邦宏@70期 / 太田省三@77期★事務局

第73回 香取由夏さん@109期

「音楽家の試練と情熱?

心に届く音楽のために」

10日 2010 4月 21日  
April

第88回 釜江尚彦さん@69期

「アナログからデジタルへ」

第74回 馬場桂一郎さん@75期

「もうひとつのオリンピック

～スペシャルオリンピックス」

8日 5月 19日  
May

第89回 川島良彰さん

「コーヒーの多様性を求めて

～コーヒーハンターの旅」

第75回 三善英知さん@92期

「将棋と医学研究の接点」

12日 6月 16日  
June

第90回 米沢 昴さん@76期

「温暖化と哲学」

お休みです

休 7月 21日  
July

第91回 田中 昭さん@75期

(青山学院大/関西学院大 非常勤講師)

「名指揮者フルトヴェングラー」

第76回 辰巳知行さん@99期

「平和構築の現場」

7日 8月 18日  
August

第92回 加藤日出男さん

(若い根っこの会会長)

「生涯青春 いのちよ、ありがとう」

第77回 小久見善八さん@76期

「二次電池の発展とグリーン

コミュニティでの役割(仮題)」

4日 9月 15日  
September

第93回 瀬島俊介さん@80期

(メルシャン株式会社代表取締役専務執行役員)

「ワインと共に」

第78回 芦田 譲さん@74期

「(演題未定)」

2日 10月 20日  
October

第94回 (講演者募集中)

第79回 辻ひろ子さん@79期

「森繁久彌先輩1周忌

『夫婦善哉』ほか(仮題)」

6日 11月 17日  
November

第95回 杉浦 澄さん@75期

(AMHEAラボ代表)

「間違いだらけのアカウンタビリティ」

第80回 加地伸行さん@67期

「(演題未定)」

4日 12月 15日  
December

第96回 松田道男さん@77期

「英語と日本人」

2011 1月 19日  
January

第97回 安田宏志さん@77期

「演題未定」

2月 16日  
February

第98回 (講演者募集中)

3月 16日  
March

第99回 (講演者募集中)

4月 20日  
April

第100回記念 岡村喬生さん

(オペラ歌手)

「翔け世界へ、正しい蝶々さん」

## 平成22年11月13日(土)FR委員会スペシャルイベント開催

### 【六稜若手交流会】

12:30～13:00 受付

13:00～14:45 交流会

会場:六稜会館3階ホール

対象:100期以降の六稜OB・OG

会費:500円(飲物代)

### 【行列のできる就活相談所2010】

13:00～13:30 受付

13:30～14:45 相談所

会場:北野高校多目的ホール

対象:就職活動を行う六稜OB・OG

会費:無料

### 【六稜若手社会人&就活生交流会】

15:00～17:00 交流会

会場:六稜会館3階ホール

会費:無料

#### 【第1部:六稜若手交流会】

「多くの人との交流を広げられる場を」との思いから始まった六稜若手交流会も今回で3回目となります。「六稜」というつながりを縁に、卒業期、クラブ幅広い交流が出来ればと考えています。

★★2010年5月開催の参加者からの感想★★  
「多くの業界・職種の方と交流を持つ事ができた」  
「新しいアイデアや発想を手に入れた」  
「水泳・断郊競走や先生方の話など共通の話題も多くアットホームな雰囲気だった」

#### 【第1部:行列のできる就活相談所2010】

世間の景気は少しずつ回復基調を見せていますが、新卒採用市場は依然として厳しい状況が続いています。企業各社は採用計画を大幅に減らし、優秀な学生の絞込みに向けて準備をはじめています。

そこで、「本当に強い就活生」になりたい方へ向けて、今年も「行列のできる就活相談所2010」を開催致します。

昨年は先輩社会人の方々に、六稜の先輩だからこそ話せる本音でのディスカッションを繰り広げていただき、参加した学生からも好評を頂きました。

#### 【第2部:六稜若手社会人&就活生交流会】

若手交流会後、本年就職活動を行う学生も交えた交流会を開催いたします。例年、多くの社会人の方々にご参加いただいております。「自身の仕事を見つめなおす事ができた」「学生から刺激を受けた」などの評価を頂いております。お時間に余裕のある方は、ご自身の就活経験談や現在の仕事内容などを学生にお話いただければと思います。

後輩である就活生のために、六稜の先輩卒業生が社会人として就活生の疑問・質問・相談・悩みに全力で応える交流会です。社会人と話す経験を積むことはもちろん就職活動へのモチベーションが刺激されます。社会人と身近に話すという貴重な体験を多くの方に評価いただき、数多くの就活生&六稜若手社会人にご参加いただきました。

#### 【六稜若手交流会】&【行列のできる就活相談所2010】

六稜Webサイトにこれまでの開催報告を公開しております。

本イベントの特設ホームページ&エントリーは六稜WEB上で10月1日オープン予定です。

なお、第1部、第2部それぞれ単独でのご参加も可能です。

メールでのお問合せはfresh@rikuryo.or.jpまで。

(内容は変更されることがあります。)



# Party Reports 1

## ●六稜観梅会2010・2・24

谷 卓 司 (98期)

去年は雨にたたられた観梅会であったが…今年  
はまるで4月のような陽気の中、ご覧のような満  
開の梅林を愛でるべく六稜人が参集した。参加者  
で最年少の103期のマドンナ末廣由夏さんは着物  
姿で登場し、彩りを添えた。

恒例の記念写真は阿部源三郎さん(50期)の名



機で、いつものように記念碑前に集合して撮影。  
その後、一路、懇親会場へと向かいます。

そもそも六稜と大阪城梅林との関係をおさらい  
しておく、今を遡ること約37年前の1973年。  
創立100周年の記念事業の目玉企画として、880  
本の梅の木を大阪市に寄贈したところから始まる。  
大阪市に公園局が発足したばかりのことで、当時、  
市が進めていた「花づくり公園」計画の第1号と  
して、大阪城公園に今の梅林が整備された。現在  
では、梅の木も1,200本に増え、市内屈指の梅ど  
ころとして定着しているが、実はこのような背景  
があって、われわれ六稜 同窓会では、毎年、こ  
の梅林を訪れ、先人の偉業を顕彰しているのであ  
る。

チャーターしたロードトレインは10分ほど遅  
れて到着したが、汗ばむくらいの気候で良かった。  
城内から宴会場のあるKKRホテル大阪のすぐ前ま  
で、これで50人が移動できる。

KKRホテルでは、いつものように14階オリオ  
ンの間が準備されていた。木村市三(73期)事務  
局長の司会進行で開宴。

今年も最長老の牛田晴夫さん(46期)が「大阪  
の名所となった梅を愛で」と川柳を詠み、乾杯の  
音頭を取った。壇上に起立する姿は、御年94歳  
とは思えない…お元気そのもの。六稜人の鑑のよ  
うな方です。

このあと、しばらく歓談。

最後に、阿部源三郎さん(50期)が「北野と健  
康」と題したスピーチを披露。海軍兵学校時代に  
鍛えた自慢の大声で、「毎日かならず一駅分歩く  
こと」「宴会のある日は昼食をセーブせよ」など、  
カロリーの適正在庫こそが成人病予防に効果のあ  
る旨を、産業医として生きた自身の半生をふり返  
りながら説いた。

その後、一同起立して校歌を1番から5番まで  
斉唱した後、来年の再会を約して閉会となった。

来年の観梅会は2011年2月23日(水)開催の  
予定です。

※なお、過去の参加者にはDMハガキによる案内があるので、まだ一度も参加したことのない方は、今から案内通知の登録だけでも済ませておくことをお勧めします。詳しくは同窓会事務局まで。

## ●北野中学記念碑の会開催

谷 卓 司 (98期)

恒例の4月20日に大阪市北区の中津・済生会  
病院にある記念碑に32名が参加。

北野校舎経験者としては唯一人46期の牛田晴  
夫さんが出席。

その後の会食会で当時の思い出話を話されまし  
た。





## ●岡山六稜会だより

### 足立 富郎（82期）

平成 22 年 5 月 29 日（土）18：00 より、例年どおり、メルパルク岡山において、第 27 回・岡山六稜会を開催いたしました。今年度は、名簿作成を更新し（会員数 57 名）、3 条件（遠方、高齢、音信不通）の方を削除しました。

また、今年に入って毎年出席されていた太田繁さん（S16 年卒、2 月 20 日肝不全）及び村上育郎さん（S15 年卒、4 月 26 日、心不全）の両名がご逝去されました。

今回の出席者は、男性 21 名、女性 5 名、合計 26 名でした。新規の 6 名（学生 5 名）を含めて、卒業年齢構成では、S16 年から H21 年まで幅広くなっており、S16 年～29 年卒 5 名、S30 年～39 年卒 5 名、S40 年～49 年卒 8 名、S50 年～59 年卒 3 名、S60 年卒～5 名でした。まず、最初に新規の方を紹介し、各人にご挨拶をしていただきました。その後、六稜同窓会から頂きました DVD を見ながら、北野高校の歴史と最近の学校事情を教えてくださいました。勿論、大先輩の方々のご挨拶もあり、新規の方も六稜同窓会の一員であることの意義と喜びを再確認されたことと思います。

さて、岡山市は昨年 4 月に政令指定都市となり、

4 区制（北、中、東、南）に住居表示が変更されました。4 月 1 日現在の人口は、704,465 人です。また、21 年度市民意識調査によれば、岡山市への定住性（住み続けたい）80%、地産地消の推進 62.9%、安全・安心で暮らせる 84.3%でした。環境づくりも積極的に実践され「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市づくり」を目指しております。さらに今年 7 月 19 日より 10 月 31 日まで「瀬戸内・国際芸術祭」が開催されます。瀬戸内海に浮かぶ直島・大島など 7 つの島（岡山・香川）で行われる国際的な芸術祭です。宿泊施設も完備され、アート鑑賞と瀬戸内海の島巡りはすばらしいものです。是非、ご来岡して楽しんでください。

最後に来年の第 28 回・岡山六稜会は、平成 23 年 6 月 4 日（土）に予定しております。また、岡山県内在住の方でご存知の方がおられましたら、下記の事務局までご連絡をよろしくお願いいたします。

#### 記

岡山六稜会事務局

岡山市北区中山道一丁目 17 番 7 号

TEL：086（246）3352

世話人：足立富郎（S45 年卒）





## ●ラグビー部トークリレー 追悼試合出場記

ゲームキャプテン・六稜ラグークラブ幹事長  
**梅本 州一**（89期）



2010年4月25日に行われました、朝比奈鈴三先輩（59期）・青山政雄先輩（59期）・大嶋良平先輩（61期）・田中啓一先輩（天王寺高校OB）の追悼試合の報告を致します。四先輩が所属されたザ・ジェントルメンR.F.Cの主催で、我が六稜ラグークラブ（北野高校ラグビー部OB会）が対戦させて頂きました。



この日に備えて、急遽編成されたチームには、上は名和成介先輩（57期・84歳）から若手の黒飛一志君（108期）まで、自見弘之会長（70期）、千葉から参加の岩田天植君（89期）を含めて総勢17名が参集。対するジェントルメンは一見して50名近いという大部隊。この時期らしい暖かさが戻った、快晴のJR西日本鷹取グラウンドは、天然芝が目眩しい最高のコンディション。

四先輩のご遺影、ご遺族、元顧問の野々村博先生を始めたくさんの六稜ネクタイ組の見守る中、原田隆司レフリー（日本協会A級レフリー、98期）のホイッスルで12:30にキックオフ。15分+20分+20分の変則3ラウンドでの試合となりました。相手方が、ラウンドを重ねる度にメンバーを若手にシフトしていく中、1・2ラウンドは互角の戦い。お元気な名和先輩や、攻守に闘志あふれる黒飛君のプレー、福家章利君（101期）のハードタックルにメンバーの士気は高まり、六稜らしいクリーンなゲーム運びで臨

みました。最終ラウンドこそ、若手主体のジェントルメンに圧倒されましたが、最後まで切れることの無い闘志で応戦、先輩方のご遺志に報いるいい試合が出来たと思います。

一方現役の方ですが、6月末現在で新入生11人（内経験者2人と女子マネジャー1人）が入部し、16人となりました。2013年の創部90周年に向けてOB会を上げて支援して行きます。

当日の参加者30名（敬称略）：**太字は試合参加者**

野々村・劉（55期）、**名和（57期）**、上小沢・松丸（58期）、大岩（60期）、比山・堀川（63期）、**自見（70期）**、南（72期）、村上・**藤村（76期）**、福原（78期）、**和田・宮本・堤（79期）**、米澤（80期）、**田中（82期）**、岩田・中本・**梅本（89期）**、原田（98期）、**露峰・山田（99期）**、中谷・**榎井・福家（101期）**、**牟田（102期）**、志村（104期）、**黒飛（108期）**

青山先輩の奥様・息子さんご夫妻・娘さん、朝比奈先輩の奥様、大嶋先輩の奥様・娘さんご夫妻・お孫さん、田中先輩の奥様もご出席されました。

\*\*\* 当日の写真はHP([www.kitano-rugby.net](http://www.kitano-rugby.net))の“フォトギャラリー”を又、新入部員のプロフィールは“部員紹介”をご一覧下さい。



## ●河原剛先生を偲ぶ会

ー河原桂太君への手紙ー

黒川 森 夫（70期）

今年の夏はことのほか不順な天候が続きましたが、その後お変わりございませんか。

去る1月14日先生が急逝されて早や4カ月余が過ぎた5月22日（土）午後5時、大阪市北区にある料亭で3年を担任していただいた70期9組クラス会が特別企画として「河原剛先生を偲ぶ会」を14名出席のもと、いとも和やかに開きましたので報告いたします。

昭和33年卒のわれわれは、古稀も過ぎ、抜ける者も目立つ年代になりましたが、当時の3年9組の担任は物理の福田博造先生であったのが、ご病気で2学期からは英語の河原剛先生に代り、かくして大半が進学を目指す多感な集団は卒業まで個性豊かな先生にお世話いただくことになったのです。

先生のご指導ぶりは、実にきめ細やかで、各生徒の成績に応じて親身になって面倒を見ていただきました。つまり弱い者の味方、私も含めて出来の良くない生徒ほど手厚いご指導を受け、それなりの適切な進路を決めていただき感謝しております。

ですから、北野卒業直後から河原組クラス会が発足、毎年欠かさず1月に開催され、ひと廻り上の先生を兄貴のように慕い、プライベートでもご自宅へ押しかけ一杯やったり、色々な青春の悩みを相談したり、十三で夜明けまで飲み明かしたり、とにかく先生中心の朗らかなクラス会に発展していきました。

ある時、誰かが正規の担任は福田先生であったことに気づき、それからはお二人の恩師を囲んだ実には賑やかな、楽しいクラス会が延々と続いたものでした。

しかしながらここ数年、あれほどお元気だった河原先生が体調を崩され、皆が心配するさなかの1月14日早朝、急性肺炎のため逝去されたとの訃報に大

きなショックを受けた次第です。

1月16日には、君と龍太君により関係者約30名参列のなかしめやかに葬儀が行われたと聴きます。

さて、「偲ぶ会」に戻りますが、幹事の私からこれまでの経過を報告したのち、君からのお写真を前に、生前先生がこよなく愛したい高知の名酒「船中八策」を全員に注ぎ、福田先生の音頭で献杯いたしました。

店の特別コースに舌鼓を打ち、酒に酔いしれた頃、遠くバンコックからの向井君のメッセージが紹介され、それを機に堰切ったように先生にまつわる愉快的エピソードが次々と披露され、爆笑の渦が絶えませんでした。

最後は、先生の愛唱歌、阿久悠作詞、森田公一作曲「青春時代」を声高らかに合唱しました。

瞬間の数時間、生徒への優しい思いやり、人間味溢れるお人柄、そして教え子の心に永遠に残る先生との追憶の数々を反芻しつつお開きとなりました。

桂太君、このように素晴らしい父上であったことを誇りに思い、また、お父上直伝の数々の教訓を糧としてこれからの人生を有意義に生きて下さい。

## ●62期卒業60周年記念同窓会報告

加藤 知彦（62期）

2010年6月2日、62期（六二会）の同窓会を行いました。今年は「卒業60周年記念同窓会」ということで41名が同窓会館に集まりました。恒例の卓話は大阪歴史博物館館長の脇田修君の「信長と秀吉」。

信長は、一般に「改革者」と見られているが、軸足は戦国時代にあり、寺社領などを知行安堵し、検地は年貢高表示で、在地領主を認めた上で城下町を建設した。

一方、秀吉は、土地は検地して給付し、「太閤検地」は基準生産高に基づき、兵農・商農を分離して城下町に集中させ、関所撤廃・楽座令は全国に及んだ。

つまり、信長は「戦国の覇者」であり、秀吉は「近世の創始者」であると云える。

又、「石山本願寺」は「大坂本願寺」と呼ぶのが正しく、「安土桃山時代」は「安土大坂時代」と呼ぶべきだ、という自説を改めて述べられた。

表面的な歴史からこぼれ落ちる挿話を取り上げ、短い時間ながら聴者に「これこそが生の歴史だ。」と感じさせる卓話であった。





このあと、全員揃って「殉難の碑」にお参りし、昭和20年6月15日、学校防衛のため宿直中、空襲のため校庭で殉職した同期の池田彰宏君、中島要昌君のご冥福をお祈りしました。

会場を「プラザオーサカ」に移しての懇親会は昔の思い出に話が弾みましたが、毎年同窓生が減っていく中、(この一年で10名死去、目下の生存率約70%)健康や病気のことが話の中心になるのは仕方がないのでしょうか。

最後に吉栖勇君のリードで校歌を合唱し、来年の再会を約しました。

## ●67期卒後55周年記念総会

日 高 穂 (67期)

67期生は今年卒後55年になるのを記念し、去る4月24日(土)六稜会館及びプラザオーサカにおいて同期会を開催いたしました。

前回は三年前のちょうど古希のときで101名の参加がありましたが、今回はその後鬼籍に入られた方も多く、果たして何人が参加してくださるかと危惧しておりましたところ、93名もの方たちがお集まりくださいました。

その中にはパリ在住の松本(津村)和子さん、猪苗代湖畔から初参加の菅野(大西)文代さんなど遠方からの参加者もあり大変盛会でした。

先ず3Fのホールにて幹事代表・羽尾清さんが挨拶、そして今は亡き友72名の方たちへの黙祷を捧げることからスタートいたしました。今回も元気にご出席賜りました福田博造先生からは健康にまつわのお話を頂戴し、その後は先生に入っていたいでてのクラスごとの記念撮影

となりました。当時は9クラスありましたので先生にはそれぞれお付き合いを頂き有難いこととございました。

さてプラザオーサカに移動し、今度はホテルの写真室をかりての全体写真の撮影、ただ93名ともなりますとこの写真室も手狭な感じで、写真家・林さんの指導の下、皆さん肩を寄せ合っでの撮影となりましたが、後日、蓼和田明さんより『あのときの感触は生涯忘れられない思い出になりそうです。』というコメントを頂き、

なんとも微笑ましく又ほっといたしました。結果は皆様ご覧のとおり立派な写真が出来上がっております。

この後二次会では我らがホープ、前衆議院議員・行政規制改革担当大臣を務められた中馬弘毅さんの挨拶からスタートし、隠岐の島より参加の神宅寿昭さん、そして今も現役で御活躍の医師・尾崎馨さんの「寿命にまつわのお話」、その他即興の歌・謡曲・ブリッジの話などがありました。中でも奥様(生物の津吉先生)との、そもなれそめは?というリクエストにお答え下さった福田先生のお話で、『そう言えばあの時生まれた娘がね、ちょうど今年55歳になりますよ。』に会場はどっと沸きました。私たちが若かったのは勿論ですが、先生たちも又青春真っ只中でいらっしたんですね。

お開きには校歌斉唱、そして一本締めの後、次回は三年後・喜寿の歳に又再会することをお約束して閉会となりました。勿論この後、半数以上の人が同じホテルに設けた三次会会場へと移動されたのは言うまでもありません。

すばらしき先輩たち、優秀なる後輩たちに囲まれて、私達67期生もまた、命ある限り、誇り高く生き抜いて行きたいものと思っております。

この地球が存在する限り、永遠に栄えあれ!わがふる里・北野高校!





# 引越しは大名行列!?

# 中津から十三へ



皆さんは「北野」のネーミングのルーツをご存知でしょうか？そう、地名です。難波御堂→堂島→北野…校歌に歌われた地名は校舎移転の足跡を詠んだものです。

ところで、母校の現住所が淀川区「新」北野であることはご存知ですか？「新町」に対して「本町」「元町」が存在するように、「新北野」のルーツは、実は対岸の中津にありました。済生会中津病院のある辺りを、かつては「北野」と呼んでいたのです。

今回の特集は…母校の校舎が最後の移転を遂げる、中津から十三への引越し（昭和6年）についてです。地名まで引き連れたこの「大名行列」の様子を…実際に経験された森島重勝さん(45期)のお話を交えてお届けいたします。

(松田典子@95期/中嶋明子@106期)



【難波御堂校舎】本校の137年にもわたる長い歴史の第一歩は、1873(明治6)年4月20日に、難波御堂(難波東本願寺掛所)に開校した欧学校から始まりました。

【中之島校舎】1877(明治10)年6月に中之島(旧久留米藩邸跡)に校舎を移し、大阪第一中学校と改称しました。当時としては珍しかった洋風木造校舎は、視察した九鬼隆一文部大書記官により、次のように報告されています。「大坂市中学校ノ建築ハ其形容殊ニ美麗ニシテ壮ナルモノアリ」(『文部省第四年報』より)

【堂島校舎】二度にわたる廃校の危機を乗り越え、1883(明治16)年7月2日に府立大阪中学校として再出発をした本校は、同年11月12日、福澤諭吉ゆかりの堂島(旧中津藩邸跡)へと移転しました。堂島校舎は、旧中津藩邸を修理して使用していたため、老朽化により改築を余儀なくされ、1889(明治22)年3月末に堂島新校舎が完成し、芝田町へ移転するまでの19年を、堂島で過ごすことになりました。堂島新校舎の壁には、皆様お馴染みの「六稜」の校章が輝いていますが、新校舎の完成と同時期に誕生したと言われています。また、53～54号で特集した修学旅行(軍事教練)や、同窓会活動は堂島時代に始まりました。しかし、10年に満たない新校舎に破損が目立ち始め、移転、新築の声が上がりました。

【北野芝田町校舎】1902(明治35)年4月30日、北野芝田町(現 済生会中津病院)に完成した新校舎で、大阪府立北野中学校と改称した本校は、29年間を過ごすことになりました。同年6月1日に行われた落成式の知事式辞において、高崎親章大阪府知事は、次のように語られています。「本校舎ハ務メテ堅牢ヲ旨トシ、教室其他ノ配置等、之ヲ旧校舎ノ得失ニ鑑ミ、其構造宜ニ適ヒ、教養上幾多ノ利便ヲ進メタルヲ疑ハズ。惟フニ、中学ニ於ル教育施設ノ良否ハ、直ニ国運ノ消長ニ影響スベシ。」

芝田町時代には満州～韓国への修学旅行や、六稜同窓会成立、校内水泳大会、「生徒心得」

## その昔難波御堂に堂島に次ぎて北野に



などが開始しました。更に、この校舎移転を謳っている、校歌「六稜の星のしるしを」の撰定がこの時期に行われ、本校の核が形成された時期となっています。

【十三校舎】北野芝田町校舎移転よりわずか25年ほどで、閑静であった北野芝田町付近の市街化が進み、騒音や大気汚染が問題となり、また生徒の増加、設備の不足、腐朽に対する対策案として、移転改築の声が上がります。当時発足したばかりの生徒保護者会の委員が、大阪府と府会に陳情書を提出し、議決されました。しか



▲建造中の「十三大橋」昭和6年(1931)頃

十三大橋建設は当時の大阪府立第三中学校の校舎

し移転候補地の敷地は、北野芝田町校舎よりも狭く、またしても生徒保護者会が「(前略)…国家教育百年の大計の為に一大規模の中学を企画し、大大阪の名に於いて北野中学をして益々光輝あらしめられんことを」と陳情書が府に提出されるも認められず、結局北野芝田町校舎より約530坪狭い現在の十三(当時は中津町大学成小路)の地に移転が決まりました。

校舎移転に伴って、府当局は校名を「十三中学」「神津中学」「中津中学」などに変更すると聞き込んだ六稜同窓会代表者5名は、次のような陳情書を府知事に提出し、その結果、校名変更は行われず北野の校名は受け継がれました。ここでも生徒保護者会が同様の陳情書を提出したことは、言うまでもありません。「従来、府立学校ノ移転ヲ行ハルル際、常ニ校名ヲ改メテ所在地名ヲ冠セラルルヲ例トスルガ如シ。(中略)母校ノ位置幾十度移転スルモ北野中学校ノ名ハ永世改メラレザランコトヲ希望ス。」

1931年(昭和6)年3月9日、十三校舎が完成し、4月より新しい校舎での学校生活が始まりました。

当時のガラスは、軟式テニスボールが当たるだけで割れてしまうような薄いものでしたが、北野芝田町校舎では、十三への移転が決まってからは、校舎の修繕はなされずガラスも割れたままであったと聞きます。一方、十三校舎の建設に当たっては、いわゆる日本恐慌が始まった時期であり、建築資材などの諸物価の下落により外壁を全面タイル貼りにするなど、当時の学

校建築としては豪華な仕上げとすることができました。設計と工事現場監督を務めた大阪府営繕課員の西田勇は、次のように回想しています。「無味乾燥になりがちな学校に少しでも潤いを、との願いからであった。」

さて、旧校舎からの移転はどのように行われたのでしょうか。

3月27日、新2～5年生、4学年全生徒により机や椅子は荷車に載せ、標本などは手に持って、淀川を渡って待望の新しい校舎へと向かいました。

現在の十三大橋は、昭和5年1月着工、同7年1月に開通していますので通ることは不可能です。それではどの橋を渡ったのでしょうか？

このあたりに初めて橋が架けられたのは明治11年のことです。私設の橋であったため有料の橋としてスタートしました。その後、新淀川の開削工事に伴い、明治42年に鉄橋、十三橋が完成しました。長さ683.2m、幅員は5.5m、欄干はなく鉄パイプの手摺が設けられただけ



▲当時の十三大橋の様子。移転中の十三大橋の校舎が橋の上





その名残として1998年に解体されるまで煙突のみを目にすることとなりました。「当時のエピソードを今でも鮮明に思い出す」という森島さんのお言葉からは、何をするにもスピード勝負の今の世の中とは違い、「一つ一つのエピソードが強烈！」という濃厚な北野生活を垣間見ることができますね。

でした。位置は現在の十三大橋のすぐ西(下流)側で、同時に中津運河にも十三小橋が架けられました。

引っ越しは、この十三小橋、十三橋を渡ったとみられます。幅員20mの十三大橋の工事を横目に、狭い十三橋を歩いたのでしょうか。橋を渡り終えた時に、たもとの十三焼きのお店で食べたやきもちも、さぞおいしかったことでしょう。このお店には芝田町時代から昼休みになると橋を渡って買いに走った、というエピソードがあります。

北野芝田町校舎から十三校舎まで約2km。およそ1000人の生徒たちが、そろそろと大きな荷物を押して、持って通るさまはどのようなものだったのでしょうか。当時の十三校舎周辺は、現在のように家が建ち並ぶこともなく、田んぼ・畑・牧場が広がる見晴らしの良い場所だったとか。自分たちの手で荷物を運ぶ、という今の時代では考えられない情景に、意気揚々と立派な校舎へ向かう生徒たちの姿が浮かび上がります。

移転後最初の訓示では、生徒を「旧校舎時代より進学率が低下するようなことがあれば、先輩・父兄に申し訳ない。質実剛健の校風を守って大いに勉強せよ。」と督励されました。

新校舎では、生徒保護者会による募金で、スチーム暖房という当時としては画期的で近代的な設備を取り入れました。チーン、カターンと音をさせて、お弁当を温めたりもしました。しかしながら、「六稜魂」の真髄を知る(?)質実剛健の気風に満ちた5年生は、スチーム暖房を断固拒否するのです。その後、戦争の影響により使用禁止、ボイラー等も金属品回収にあり、

こうしてみると、大阪の中心部難波御堂に始まった本校の校地は、勉学に適したより静かな環境を求めて外部へと移転してきたことが分かります。また、所要所で保護者、卒業生(同窓会)の子を思う気持ち、母校を愛する気持ちは、いつの時代も変わらないものですね。

現校舎は十三校舎の二代目に当たります。より近代的な様相となりましたが、そこに息づく「六稜魂」は、難波御堂から脈々と受け継がれています。



### 【クイズ】

これは、何校舎（の一部）でしょう？

- (1)中之島校舎
- (2)堂島校舎
- (3)北野芝田町校舎



### 【ルーツ発見】

芝田町、中津町、豊崎町…あたりを隈なく探してみましたが「北野」という町名はすっかり消失してしまったようです。

唯一、バス停の名前に「北野」の名残が残されていました。阪急ホテルインターナショナルの北側です。Check it out!!

# Party Reports 2

## ●75歳のコーラス

中井 都 (65期)

2010年6月26日(土) ヒルトン大阪「金の間」において、六稜65会22年度総会がもたれました。

山崎馨先生、関谷全先生のご出席をいただき、115名の同期生の笑顔と挨拶が飛び交う、和やかな雰囲気の中開催されました。

卒業後60年近くになりますのに、今年もこれだけ多くの出席者があるということは、人生のすばらしい一時期を共有した65期生の絆が如何に強いものであるかを物語っています。

12時の定刻を少々回りましたが、今年度世話人代表辰巳末芳さんの司会にて開会し、会長、先生方の挨拶、事務局の報告などのあと物故者へ黙祷を捧げました。

つづいて会食、懇親に入りましたが、今年度のエンターティメントは、注目の65会有志による「kの会」のコーラスです。75歳の同級生が高校生にかえて「夏はきぬ」〈ムーンリバー〉の二曲をそれは楽しく合唱いたしました。同級生であるということで、親しみをもって聴いていただけたのではないのでしょうか。

ひき続きコーラスの指導、指揮をされた牧野宏子先生の〈夏の思い出〉、オペラより〈私のお父さん〉の素晴らしいソロにしばし耳を傾けました。

懇親会は豪華ホテルの多彩なメニューに舌鼓、懐かしい方々との歓談に盛り上がりました。

最後は、それぞれ溢れる思いを胸に、全員で校歌を歌って終了。また元気で会いましょうと、来年を期して閉会となりました。



65会事務局の新原さん、谷藤さん、今年もひとかたならぬお世話になりました、ありがとうございました。

2011年度の総会は5組から6組にバトンタッチ、よろしくお願いいたします。

## ●元気にやっとうよ！ 80期やっとう会報告

上里 康子 (80期)

2010年7月3日(土)、大阪駅前のホテルグランヴィア大阪のパブレストランにて同期会を開催しました。毎年この時期に七夕様のごとく同期会を開く我が80期。今年は、65名の参加で、少し少なかったのですが、梅雨空を吹き飛ばす楽しい会になりました。時事川柳を次々と出して楽しん



でいる同期の中山行輝さんのトークや、シャンソン歌手で活躍中の北岡樹さんの歌声にうっとりしながらおいしいお料理に舌鼓を打ち

ました。懐かしの校舎の映像や3年生の時の体育祭の映像も映し出されて、40数年前にタイムスリップした楽しいひと時でした。コメントを交えての一人ずつの紹介。参加者一人ずつの顔写真(卒業アルバムから)が印刷されていて、現在の顔と見比べて薄くなったの白くなったのと大いに盛り上がりました。集まれば、病気の話や介護の話と暗い話題が絶えないのですが、このときばかりは解放され、皆元気そのもののいい顔でした。その後クラスごとの記念撮影。卒業以来初めての参加者や、遠くはフランスから一時帰国中の人(フランス人のご主人も一緒に)、東京や長野、山口からの参加もあり、大盛会でした。不思議なもので、高校の時は一度も話をした事なかったもの同士でも会話がはずむんですね。あっという間に4時間が過ぎ、

校歌を高らかに歌ったあと、大阪締めで締めくり来年の再会を約束してお開きになりました。





## ●第95期生同窓会（5月29日）

松本 幸久（95期）

六稜同窓会第95期生は、5年前に最初の同期全体の同窓会を開催し、今後5年ごとに同窓会を開催することとしていました。今年はその5年目の年。年明け頃から世話人の間で準備を始めましたが、今回は2回目ということで、前回に比べれば、スムーズに準備も進みました。

われわれも、今年は46歳になります。会社などの組織内においては責任のある立場になっている者も多く、また、一方プライベートの面では子供の受験など、とかくストレス溢れる世代と言えるのではないのでしょうか。そこで、今回の同窓会のコンセプトは「とにかく話をする場に徹する」ということにしました。種々イベントめいたものも考えはしたのですが、そういうものは今回一切なし。日頃なかなか言えないようなことも、学生時代の友人ならば気兼ねなく話ができる、そういう場にしようとの思いです。その中で一つ、今回の試みとして、「クラス替え」を行いました。これは、はじめは3年時のクラスで集まって会をスタートしますが、途中で2年、1年とクラスごとの集まりを替えて、それぞれの学年で楽しもうという趣向です。

当日はこの季節としては少し肌寒いながらも天候に恵まれ、生徒101名、先生方3名の方が六稜会館に集まりました。最初に本校において現在も教鞭をとってられる、数学の三橋先生からご挨拶をいただきました。

その後世話人から、4年後の六稜同窓会総会において、95期生が幹事を担当すること、ついてはのための準備の意味も込めて、次回は3年後の平成25年に開催し、4年後の総会に向けた協力をお願いをしました。95期の皆さん、よろしくお願いします。

さて、その後は体育を担当されていました松下先生からのご発声で乾杯を行い、なごやかな懇談が始まりました。途中で今回の趣向のクラス替えを行い

ました。ところが、自分が1年や2年の時に何組だったかを正確に覚えている方は、そう多くはありません。そこで、卒業アルバムから当時の先生方の写真を集めて前面のスクリーンに映し出して当時の記憶を呼び戻してもらいました。どの先生もお若いこと。3年から2年、2年から1年へと、各学年のクラスメイトとの話に花が咲きました。

最後に12組の担任で、国語を担当しておられました藤尾先生から締めのご挨拶をいただき、先生のご発声で万歳三唱をして、お開きとなりました。

この後二次会のホテルプラザオーサカのラウンジ「北野」に場を移しましたが、話も尽きないということか、約70名の方が、さらに三次会は十三駅前の白木屋に行きましたが、ここにも約50名の方が参加。皆さん、最後までお疲れ様でした。

やはり、われわれのこの年代になると、子供が高校生くらいになっているご家族も多いのでしょうか、高校時代の友人と再会すると、話は尽きないのでしょうか。そういう意味では、今回の95期同窓会のコンセプトは的を射ていたのかな、と思います。今回の趣向のクラス替えも、結構好評だったようで、これをきっかけに2年や1年のクラスで同窓会を開こうという雰囲気になったところもあったようです。同窓会の輪が、こんな風に広がっていくというのは、今回の世話役としても、うれしく感じた次第です。

## ●96期 学び舎に紡ぐ縁

辰巳 泰子（96期）

6月26日（土）、夕方5時から受付は開始され西梅田ハートンホテル内ガーデンキッチンにおいて、第96期同窓会が開催された。立食形式。当日は雨降るも、3年前の60名を上回る百余名が集まり、人波を掻き分け一時間強の歓談の後、現学校長八尾先生による手品が披露された。拍手喝采、近くで見ながらまったく種が分からなかった



と嘆息を洩らす人も。その後、独身者の名乗りを募る。幹事が「ずっと独身でなくてもいいんですよ、今独身ならいいですよ！」と声をかけると、男性陣からの勇者は1名。対して女性は次々名乗りをあげ、スピーチを繰り広げた。その後、クラス毎の記念撮影、最多は9組の15名。さらに全員の集合写真を試みる。それぞれに声をかけあつての百名整列、又会う日までの笑顔を見事フィルムに刻んだ。

私は父の術後見舞を兼ねて、東京からの参加だった。96期は四十代と真ん中。お子様を預けられて、また、介護しながらの参加もあったことだろう。ご息女が今年北野の一年生という人もあった。私たちはこうして、学び舎を拠点に縁を紡いでゆく。青木先生にお会いできてよかった。「あなたは恵まれて学ぶことができるが、世の中にはあなたと同じ年齢で、不自由を抱えながら働く少年もある。そういう人たちを説得できるだけの仕事を残してください」……若き日胸に刻んだ言葉を、今も忘れない。

## ●110期学年同窓会を終えて

山 分 和 也 (110期)

2010年1月2日、110期全体での同窓会が、北野高校近くのプラザオーサカで行われました。卒業以来初の学年全体での同窓会でした。

今回の同窓会の発端は、水泳部主将の竹村君が中心となって年に何度か開催されていた関東在住者の同窓会(10～20名の規模)での会話からでした。2009年9月に前述のメンバーでバーベキューをしたのですが、そこで学年同窓会の話が出ました。この話の中でリーダーシップを発揮したのが津口君でした。彼は、秋田で社会人野球をしていたのですが、昨年野球を引退して東京へ転勤してきていました。彼は学生時代「リーダー」というあだ名であったほど幹事役に適任で、30歳という区切りの年に是非学年全体の同窓会をしよ

うという話が盛り上がると、その場で彼を中心に13名の幹事団が立ち上がりました。

幹事をする

上で意識したのは、みんな仕事がある身なので、それぞれの仕事の負担にならない範囲で幹事業務を行うこと、また、業務を少しずつ分け合って一人一人への負担を軽減させることでした。学年全体という大規模な会の幹事は誰も経験が無く、開催までの4ヶ月間は試行錯誤で準備に取り組みました。

まずは、幹事間の連絡体制の確立。普段はそれぞれ仕事で忙しいため、連絡の徹底がひとつの課題でした。そこで活用したのがG-Mail。全員が毎日一回はそれを確認することにより、新しい情報の共有に努めました。

次に、とりかかったのは、住所録の作成。卒業以来、全く同窓会が開催されていなかったのに、400名強の同期の住所を把握するのは一苦勞でした。幹事で手分けして、期日を決めて各自の知り合いをつたって、同期の現在の住所、連絡先を搜索し、その方法で約250名まで情報を集めました。残りの人間については、同窓会名簿や実家への連絡等で確認し、最終的に400名中300名強との連絡を取ることができました。

幹事全員が集まった幹事会は計5回。毎回、進行のレジュメを作成し、テーマをはっきりさせ、議論ができるだけ脱線しないようにしました。幹事会の最後には次の幹事会までに各人がやってくることを示し、幹事が集まったときに話を一気に進められる下準備をしました。そして、議事録も作成し、話し合ったことの認識にずれの無いよう進めていきました。

幹事会では、会場の選定、人員掌握、当日までの必要準備、当日の流れなど様々な議論をしましたが、卒業から10年以上が経ち、30歳になった





とはいえ、集まると気持ちは高校生のときのまま。体育祭や、文化祭などで、みんなでわいわいやっていたときと同じ雰囲気、とても楽しい時を過ごしていました。何より幹事会後の飲みがみんな楽しみだったりして（笑）。

そして、迎えた同窓会当日。参加人数は173名と連絡がとれた人間の半分以上が参加という大盛況でした。見た目こそ昔と多少変化はあるものの、話してみれば中身はあのときのまま。津口君、中村さんの名司会もあり、会は大盛り上がりでした。進行は、久々の再会で積もる話もあるだろうということで、特にイベントを設けず、歓談に重きを置きました。はじめは3年時のクラスごとの席にし、途中で、関西在住者とその他在住者に分けて、新たなつながりができるようにしました。会を通じて、みんな本当に楽しそうで、3時間の1次会はあっという間に終わりました。2次会も同じホテルの違う部屋で行い、60名程度の参加でした。みんなの楽しそうな姿を見ることができて、幹事をしてよかったとひしひしと感じました。

この同窓会を通じて学んだことは、組織作りと、仕事の振り分けの大事さです。同窓会は規模が大きくなればなるほど、計画性も必要ですし、準備も大変です。でも、軸になる人間とそれをバックアップする組織さえしっかりできれば、大変では



なく楽しさの方が大きくなります。今後、同窓会を計画される方に少しでも参考になればと思います。

長々と書きましたが、こうして110期同窓会は大成功で終わることができました。また、何年後かみんなに会える機会が作れればと思います。

最後に、この場を借りて、同窓会幹事、同窓会参加者、同窓会開催に当たってご支援をくださった方々にお礼を言いたいと思います。本当にありがとうございました。

## ●102期ランチ同窓会

谷本由起子（102期）



5月15（土）に、ホテルプラザオーサカにて102期ランチ同窓会を開催しました。

10月の本同窓会に向けての呼び水となるよう、小さなプレ同窓会はこれまでも何度か東京と大阪で行なっておりますが、今回は普段、週末夜に参加できないママさん達の参加の促進と、子連れ対応のシミュレーションのため、土曜のお昼に集まるという試みをしました。

結果は大盛況で、参加者は50数名、ほぼ8割が女性という狙い通りの会となりました。

中には、同級生でカップルとなられたご夫婦がお子さん連れで来てくださるといううれしいご参加もありました。始めは「知ってる人いてるかな?」「私も向こうも顔見てわかるかな?」と緊張気味の人も、すぐに懐かしの面影や思い出を見つけて、また子供を通じてクラスが違う相手とも打ち解け、マイクの声も消え入るほどのおしゃべり大会となりました。子供達もビデオを見たり知らない同士で遊んだりしており、男性中心の夜の飲み会とは





またひと味違った華やかで和やかなムードでした。

2次会のカフェでお茶を飲んだ後は、がんこで3次会、その後4次会まで行われました。ママさん達のほとんどは時間の都合上1,2次会までの参加となりましたが、「久しぶりに本当に楽しかった」「ご無沙汰してた友達とアドレスの交換をして、また親交を再開することができた」と大変喜んでいただいたようでした。10月の本同窓会もぜひ参加したい、今日来れなかった人も誘ってみます、うれしい意見もいただきました。

実行委員側の収穫としては、女性の意見聴取や、ママ友ネットワークで連絡先不明者のアドレスの収集、活動をサポートしてくれる女性メンバーを確保することができました。秋の本番は、よりいっそう賑やかな会となるようこれからも呼びかけをして行きたいと思います。

## 告 知

六稜 102 期卒業 20 周年記念同窓会のご案内。

◆開催日：平成 22 年 10 月 23 日（土）

◆1 次会：14:00 ～ 17:00（於 六稜会館）

予定参加費：3,000 円程度

◆2 次会：17:30 ～ 20:00（於 ホテルプラザオーサカ）

予定参加費：6,000 円程度

実行委員連絡先：rikuryou102@yahoo.co.jp

## ●期別対抗ゴルフ 73期連覇 3度目の優勝

木村市三（73期）

今年度の六稜期別対抗対抗ゴルフ大会は 7 月 25 日にいつもの三田カントリー 27 で開催されました。参加者は 71 期から 96 期まで 127 名でした。

昨年の悪天候とうって変わり、天神祭りの日らしい猛暑の一日でした。

優勝は 73 期が 2 位とは 0.6 ストローク差の大接戦で、昨年に引き続き連覇を成し遂げました。個人の部での優勝は 89 期の安田博文さん、ベスグロは 1 アンダー 71 で同じく 89 期の引網佐登司さん、女性の部のグロス優勝はこれまた昨年に続いて 95 期の青山陽子さんが連覇しました。そして、この期別対抗二度目の快挙として、77 期の木谷篤考さんが東の 4 番でホールインワンを達成されました。このホールは奇しくも以前の 88 期川畑年弘さんと同じショートホールでした。

73 期の栄えある優勝メンバーは、栗田英仁雄、江原 哲、木村市三、久保禎男、久保田 静、柴田英二、永江 溥、三木隆雄、山田功生のみなさんでした。



### 今年のクラブ対抗ゴルフコンペのお知らせ

第22回六稜クラブ対抗ゴルフコンペは  
2010年10月3日（日）  
三田カントリー27で開催予定です。

### 来年の期別対抗ゴルフコンペのお知らせ

第22回六稜期別対抗ゴルフコンペは  
2011年7月31日（日）  
三田カントリー27で開催予定です。

# 母校の窓

## 北野高校国際交流

### 北野からケントへ

今年は3月21日から4月4日まで、123期生の男子3名女子2名と付添教員2名（途中で交替）がKENTWOOD, KENTLAKE両高校を訪問しました。今回の派遣団は新企画として、現地で日本の文化についてのプレゼンテーションを行うという重要な任務を負っての渡米でした。（表紙写真）

国際交流委員会が発行した「大阪府立北野高等学校国際交流報告集」から生徒たちの活躍ぶりをお伝えします。

### 「驚きの連続」より

まず初めてのアメリカの高校は驚きの連続でした。というのもアメリカの高校は日本と違ってすべてが本格的です。なんといってもケントウッドではバスケットコートは二つあり、陸上のトラックや、野球や、フットボールには、それぞれにグラウンドがあります。また授業は毎日同じもので、これもやはりすべてが本格的、例えば、オーケストラの授業やいろいろな教科が細かく分類されていて、高いレベルだと大学レベルのことも学べるようになっていました。また驚いた教科は料理クラスと陶芸クラスです。学校で料理と言えば日本で言う家庭科を想像しますが、アメリカの料理クラスのハイレベルなものは、本当に料理人を目指す人たちが対象なので、授業ではソースの作り方の基本などを学んでいました。

### LOL (Laugh Out Loudly) より

そして次の日から学校へ行くこととなった。学校まではConnorの車で行く。そして驚いたことにアメリカの学校は日本と全く違っていた。校舎が広い、生徒が多い、そして授業の種類がはるかに多かった。オーケストラ、ブラスバンド、コーラス、写真、演劇、育児、ガーデニング、陶芸、フランス語、イタリア語……。これは部活か！？と思うようなクラスがいくつもあり、生徒がこれらを自由に選択できると聞くと羨ましかった。ま

た毎日時間割は同じで、自分がこれを学びたいと思う教科を選択して、それを毎日学んで理解を深めていく。授業中についていうと、ガムを噛みながら机の上で足を組んで日本ではありえないようなことをする。生徒どころか、先生も平気でそんなことをする。英語の授業では紙飛行機を飛ばして遊んでいる先生もいた。しかし、そんなことをしていても日本の授業とは何故か雰囲気が違う。みんながみんな授業では積極的なのだ。全員がその授業を楽しんで、なおかつ主体的に参加している。みんな自分の意見をずばっと言うと、それに対して他の生徒が違う意見を述べ始める。ガムをかむ生徒、先生、机、椅子、教室、教室に貼ってある先生の趣味のマリナーズのポスター……すべてが一体となって、一つのムードを作り出していた。授業を「受ける」というよりむしろ「作る」といったほうが正確だった。

### 夢にまで見たホームステイ より

学校ではDanyaについて行き、一緒に授業を受けさせてもらいました。ケントの授業は月曜日から金曜日まで毎日同じ時間割の繰り返しで基本的には同じ授業しか受けていないので、私はDanyaが受けていない他の授業も受けてみたくなりました。それで先生がホストの人たちをお願いしてくれて、ほかのホストについて行くことになりました。私はConnor（コナー）と一緒に授業を受けさせてもらいました。Connorが受けている授業のひとつに演劇というものがあり、そこではダンスもしていて、その授業を受けている生徒みんながとても生き生きとしていて楽しそうでした。私はミュージカルが大好きなこともあって、その授業は私にとってとても魅力的なものでした。

日本語クラスでは日本のことを紹介しました。そのとき私はけん玉も紹介して、いろいろな技を失敗しながらも実際に見てもらいました。けん玉をいくつか持って行ったのでみんなにも挑戦してもらおうと「おもしろい！」と言って、気に入ってもらえました。また、千代紙や和紙で小さな着物をたくさん折って日本から持って行き、プレゼントすると、とても喜んでもらえました。放課後に出かけるときは北野生やほ



ケントウッドのホストと行ったレーザータッグ

かのホストの人たちと一緒にすることが多くて、Danyaの家族と過ごす時間は少なかったけれど、ほかのホストの人たちとも仲良くなれたのは嬉しかったです。ホストの人や学校のお友達、ケントの人たちはみんな、本当にフレンドリーでした。

### I'll be back… より

Kentlakeの日本語の授業は、先生が日本人だということもあってか、日本の授業に似ていました。今年から始まった日本の文化を英語で紹介しよう！という趣旨のプレゼンを毎時間行ったのですが、みんなたどたどしいJapanese Englishを真剣に聞いてくれて、質問もしてくれて、私のプレゼン嫌いさえ治ったように思います。この週もいろんなところに連れて行ってもらうと同時に、若者の文化をたくさん教えてもらいました。こればかりは現地に行かないと知る機会はないでしょう。

この2週間、ことばに関して困ったことは少なかったように思います。伝えたい！という気持ちがあれば、少々めっちゃくちゃでもわかってくれます。電子辞書は携帯していましたが、ホストとは意味を調べるのに使い、他の人とは会話の出発点になりました。また、想像していたよりもはるかに私は日本人であったことに気づかされました。

### I love you, America!! より

後、シアトルで一番でかいショッピングモールには結局3回も行っていました。梅田の店とか話にならないほど、とにかくでかい。そうこういろいろ楽しんでたうちに、本当のお別れのときがやってきました。ホストチェンジの時もつらかったけど、こっちのほうがつらい。何しろずっとお別れなんだから。でも、帰ってきた今もいろんな手段をつかってアメリカのみんなと連絡をとっています。一部の人は再会の約束もしています。だって絶対にもう一度会いたいから！こういう機会を与えてくれた皆さんと北野高校のこの伝統には本当に感謝しています。感謝してもしきれない！そして、これからケントに行くことのできる後輩のみんな、もし悩んでいるんだったら、いや、悩んでいなくても！絶対行くべきです。だって、アメリカ



に旅行で行くことはできても、実際高校に入ってみて、現地の友達を作ることなんてこの機会を逃せばないでしょ？なんでぜひ行ってください。最後に、本当にありがとうございました！

### ケントから北野へ

今年は7月8日から18日までの日程でケントウッド、ケントレイクそれぞれの高校から男女各1名（計4名）の生徒と付添教員1名が来日しました。12日の月曜日にホストを交代し、13日から北野に登校。雨天のためケント生の紹介は1、2年生を対象に多目的ホールで行われました。北野滞在の最終日となった16日の放課後に六稜ホールで行われたfarewell partyは、八尾校長によるマジックと中田先生（英語科）の横笛・尺八の披露があったり、この日が誕生日のケント生にケーキがプレゼントされたりで大いに盛り上がりしました。（表紙写真）

写真：国際交流委員会 文責：出口





## 吹奏楽部 文化活動振興賞助成金授与について

平成 21 年度 吹奏楽部は、文化活動振興賞選考委員会より助成金を授与されました。部員一同、心から感謝しております。

吹奏楽部は、5 月の定期演奏会、夏の吹奏楽コンクールの 2 つの行事をメインとして、1 年を通じて行事がないのは 1 月だけという充実した活動を行っているクラブです。

特に、今年 5 月 4 日、池田市アゼリア・ホールでの第 13 回定期演奏会は、北野吹奏楽部始まって以来の観客動員数で、プログラムは配り尽くし足りなくなってしまうは、立ち見は出るは大盛況、カウント系の部員の報告によると千名以上のお客様に来ていただいたことが判明しました。またその際、アンコール後の拍手が鳴りやまず、全く想定外の 2 曲目のアンコール曲を演奏するという、嬉しいハプニングもありました。

さて、吹奏楽部の部員数は、校内で最も多く、大多数の部員は楽器を個人持ちしているのですが、まだ創部 14 年目のクラブとあって、部所有の楽器は、まだまだ満足に揃えることが出来ていません。そのような中での助成金は本当に有り難く、心強いものであります。

今後も、自分たちが楽しむだけでなく、聴いていただいた方にも楽しんで、そしてパワーを与えるような演奏を目指して日々努力したいと思います。



2010年6月6日六稜祭での演奏風景 場所:本校多目的ホール (山形徹先生撮影)



2010年5月3日第11回定期演奏会 場所:アゼリアホール (佐々木信明先生提供)

## 平成 22 年大学合格者・就職者数等一覧

国立大学	
旭川医科大学	2
北海道大学	1
東北大学	2
筑波大学	1
お茶の水女子大学	1
東京大学	1
東京芸術大学	1
東京農工大学	1
一橋大学	2
横浜国立大学	2
金沢大学	1
信州大学	1
岐阜大学	1
滋賀大学	2
滋賀医科大学	3
京都大学	44
京都教育大学	1
京都工芸繊維大学	8
大阪大学	45
大阪教育大学	12
神戸大学	27
奈良教育大学	2
奈良女子大学	3
和歌山大学	2
島根大学	1
岡山大学	3
広島大学	1
香川大学	2
愛媛大学	1
高知大学	1
九州大学	1
合 計	176

私立大学	
慶応義塾大学	11
上智大学	3
中央大学	8
東京理科大学	4
明治大学	6
早稲田大学	11
京都女子大学	13
京都薬科大学	18
同志社大学	92
同志社女子大学	5
立命館大学	95
龍谷大学	2
大阪薬科大学	8
関西大学	74
近畿大学	20
関西学院大学	86
甲南大学	7
甲南女子大学	2
神戸女学院大学	4
神戸薬科大学	8
武庫川女子大学	4
その他の私立大学	58
合 計	539

短期大学	
合 計	0

公立大学	
札幌医科大学	1
名古屋市立大学	1
滋賀県立大学	5
京都市立芸術大学	2
京都府立大学	2
京都府立医科大学	1
大阪市立大学	13
大阪府立大学	25
兵庫県立大学	5
奈良県立医科大学	1
沖縄県立芸術大学	1
高知工科大学	1
合 計	58

準大学・専修学校等	
水産大学校	1
防衛医科大学校	2
防衛大学校	1
専修学校等	2
合 計	6

就 職	
合 計	0

種別合計	
国立大学	176
公立大学	58
私立大学	539
短期大学	0
準大学等	4
専修学校等	2
就 職	0
合 計	779

## 教職員異動（敬称略）

### ・退職

事務部長		小久保勝司
教諭	数学	中島 啓介
教諭	数学	齋藤 悦子
実習助手		坪内 里美
主査		寺井 修三
常勤講師	英語	徳田 昭継
常勤講師	理科	石田 晋一

教諭	社会	鈴木久美夫
教諭	数学	長浜 泰洋
教諭	理科	岩見 利克
教諭	英語	葛山 景
教諭	英語	高倉 明子

（以上5名の先生方は再任用で  
引き続き北野高等学校に勤務）

### ・転出

教諭	国語	宮前 裕子
		柴島高等学校へ
教諭	理科	榎本 洋祐
		池田高等学校へ

### ・着任

事務長	清水 正浩
	病院事業課より
教諭	国語 大石 貴昭
	北摂つばさ高等学校より
教諭	数学 二宮 純
	新任
教諭	数学 向川 慎治
	箕面東高等学校より
教諭	理科 神川 定久
	寝屋川高等学校全日制より
教諭	英語 榊田佳士夫
	槻の木高等学校より
教諭	英語 松山 知紘
	新任
実習助手	佐多美也子
	桃谷高等学校より
主査	大槻 幸男
	吹田東高等学校より再任用
常勤講師	内村 真緒
	日生学園より
常勤講師	明仁 憲一
	泉尾高等学校より

## 事務局だより

### 理事会報告

#### ■平成 22 年 2 月 13 日開催

○平成 22 年度予算の承認

#### ■平成 22 年 6 月 26 日開催

○5 年間会費未納者には会報の発送を一時停止の承認

以前から会費納入者の多くの方から、未納者とのメリットの差別化が寄せられ、また未納者への送料の負担も大きく、平成 22 年度を含め過去 5 年間で、会費未納者には平成 23 年 9 月 1 日発行予定の会報 57 号から一時発送しないことになりました。

会費が納入されれば発送を再開します。

但し、会費免除の 50 期以前の方、卒業後 5 年未満の 119 期以後の方には送付します。

翌 24 年以降は 51 期以前の方、120 期以後の方と順送りになっていきます。

○平成 22 年度決算承認

### 年会費納入状況

平成 21 年度 5409 人の方に納入していただきました。納入率は前年度から 1% 減の 19% でした。実数で 192 名の減少となりました。

今年度の 7 月末現在の会費の納入状況をお知らせします。

納入者は 3,798 人で、納入率は 13% です。納入率の最も高い期は 65 期で、次いで 61 期、68 期の順となっています。

納入が未だの方は、この会報に同封のゆうちょ銀行かコンビニの用紙を選択して、納入していただきますようお願いいたします。また、今年から銀行振り込みも可能になり、

三井住友銀行十三支店

口座番号 普通 1077672 六稜同窓会です。

お振込みに際しては、会員番号、氏名の順でご記入してください。振り込み費用は各自で負担となります。



# 六稜文庫

(7月末までのご寄贈)

<http://rikuryo.or.jp/books/>

徳岡 孝夫 (60期) 著

『文芸春秋』

サッカー部 OB 著

『OB 通信』

岸本嘉名男 (68期) 著

『川生きて 岸本嘉名男自選詩集 2』

山下 勝 (103期) 著

『プロデューサーのキャリア連帯』

中太郎兵衛 (46期)

『いのちの籠・拾遺』(中 正敏著)

鈴木 宏 (53期) 著

『神をおそれて 思いもかけない我が人生』

高野 照子 (101期) 著

『サハラ砂漠の王子さま』『モロッコで断食』

『モンキームーンの輝く夜に』『ダライ・ラマに恋して』

『淀川でバタフライ』『キューバでアミーゴ!』

『お先、真っ白』『ガンジス河でバタフライ』

松岡 憲司 (81期) 著

『地域産業とネットワーク 京都府北部を中心として』

檜川 哲次 (67期) 著

『新しい出のダブルダミー』

川邊 克朗 (85期) 著

『日本の聖域 (サンクチュアリ)』

三島 佑一 (60期) 著

『大阪オーラ 日本を予見する日本のハート』

水谷 勇 (30期)

『佐伯祐三』(阪本 勝著)

福井 栄一 (97期)

『1分間で読み聞かせ』

子どもが夢になる「ことわざ」のお話 100』

内海 正三 (80期)

『沖縄からコスタリカへ 平和憲法とエコツーリズム』

# 六稜グッズ

◎同窓会名簿  
2008年版…4,000円[R08]



◎絵はがき  
ラストショット…500円[LST]



◎絵はがき  
校内スケッチ…500円[PSS]

◎書籍『北野130年史』(B5判)  
…2,000円[130]

◎書籍『われら六稜人』シリーズ (A5判)  
1998年 …1,500円[W98]  
1999年 …1,500円[W99]  
2000年 …1,500円[W00]  
2001年 …1,500円[W01]  
上記4巻セット…4,000円[W45]

◎金属製「葉」  
…300円[BMK]



◎学校紹介DVD  
「六稜魂」…2,000円[PRD]

◎ハンカチ Sサイズ …300円[HDKS]  
Mサイズ …400円[HDKM]  
(※郵送の場合は3枚以上をお願いします)

※同窓会事務局にて取り扱っています。  
お申し込みは[太字]の記号で。  
詳しくはお問い合わせください。

◎Tシャツ  
Mサイズ …800円[TSM]  
Lサイズ …800円[TSL]  
LLサイズ …800円[TSLL]  
(※2枚で1,500円)



## 六稜短信

2009年9月以降、2010年7月までにご連絡いただきました方々を掲載させていただいております。

45期	佐藤 英夫	2010年2月6日
46期	細川 禮治	2009年12月7日
	泉山 三良	2010年1月25日
47期	春元 信治	2009年10月14日
49期	松分富左右良	2009年9月27日
	田元 顕治	2009年11月24日
50期	細川 俊三	2009年10月17日
51期	高木 康敬	2010年1月31日
53期	奥田 良夫	2009年12月2日
	広江 勲	2010年4月5日
54期	千馬 秀夫	2010年1月1日
	村上 育郎	2010年4月26日
55期	奥井 嘉治	2009年12月2日
	伊藤 俊夫	2009年12月30日
57期	松本 正平	2009年11月20日
	生野 重夫	2009年12月21日
	中西 正七	2009年12月31日
	小菅 卓和	2010年2月21日
58期	河野 泰通	2009年12月16日
	小林 敏夫	2009年12月20日
59期	鈴木 敏三	2010年1月15日
60期	吉村 武	2009年9月3日
	前多 良彦	2010年1月1日
	梶本 良治	2010年2月19日
	永井 昭	2010年3月12日
	澤 清太郎	2010年3月17日
	田中 康雄	2010年4月17日
61期	乾 整治	2010年3月7日
	岩田 肇一	2010年3月

62期	村上 吉男	2010年1月17日
	奥野良之助	2010年1月
	長谷川太郎	2010年2月22日
	吉田 康雄	2010年3月
	藤岡 昭雄	2010年4月18日
	杢田 恒夫	2010年5月19日
63期	九鬼美智子	2009年12月26日
	上杉 育男	2010年2月23日
	沢田 脩	2010年3月12日
	稲垣 徹子	2010年5月6日
	島田 善夫	2010年5月
64期	川本 晴男	2010年5月9日
65期	高月 章而	2010年1月23日
	脇 恵美子	2010年3月23日
67期	久保田 等	2009年12月27日
	高橋 暁子	2009年12月
	松本 眞	2010年7月5日
68期	北後 忠彦	2009年12月24日
	大隅 保美	2009年12月
	古橋 申行	2010年2月21日
69期	北尾 吉章	2010年3月23日
71期	吉原 大藏	2010年4月9日
80期	大崎 紀子	2009年12月25日
87期	塩崎 啓史	2009年11月14日
88期	迎田紀和子	2009年10月26日
	赤塚 正博	2010年6月8日
89期	井川 寛子	2010年5月4日
97期	榎屋 義郎	2010年1月

ご卒業期順、および、ご逝去日順に掲載しております。  
謹んでお知らせいたします（敬称略）。

### 同窓会費5年間未納の方に会報の発送を一時停止

同窓会費5年間未納の方に会報の発送を一時停止させていただくことが6月26日開催の理事会で承認されました。

同窓会維持のために会員のみなさまに会費として等しく応分の負担をお願いしていますが、以前から、会費の納入されている方々から未納者にも会報が発送されていることに不満が寄せられていました。

また、経費面からみましても未納の方への発送費は約200万円ほどになります。

平成22年度の今年を含め過去5年間、会費未納の方には来年の平成23年9月1日発行予定の会報57号から一時発送しないことになりました。

但し、会費免除の50期以前の方、卒業後5年未満の119期以後の方には送付します。翌24年以降は51期以前の方、120期以後の方と順送りになっていきます。

# 六稜同窓会137周年総会

開催のご案内

日時：2010年10月31日(日)13時から

場所：北野高校 多目的ホール・六稜会館

## 総会

12:00 受付開始

多目的ホール 12:45 在校生オーケストラ部の演奏

13:00 総 会

活動報告

卓話：光森 通英さん@91期



Mitsumori Michihide

【みつもり みちひで】北野高校91期。  
京都大学医学部医学科卒、京都大学大学院医学研究科博士課程修了。京都大学大学院医学研究科助手、米ハーバードメディカルスクール客員助手を経て、現在は京都大学大学院医学研究科准教授。専門はがんの放射線治療。乳がん、食道がんの患者さんを多く担当している。がん医療の「均てん化」に関する研究に従事し、乳がん診療ガイドラインの策定にも関わった。切らずにがんを治す放射線治療の特長を生かし、高いQOLを維持したがんの治療を目指している。

## 「がん治療の質について考える —Patterns of Care Studyから垣間見えたもの—」

がんが日本人の死因のトップになって30年が経ち、今や国民の二人に一人はがんに罹り、三人に一人はがんで亡くなるという状況になってきました。

がんは確かに恐ろしい病気ですが、必ずしも全てが「不治の病」ではなく、初期の段階であれば、適切な治療により完治する可能性のある病気です。したがって、ひとたびがんと診断されたら皆治療に関する情報を求めて右往左往するというのが実情です。

巷では「いい病院」「名医」のランキング本が多数出版されていますが、ほとんどが治療症例数(手術件数・放射線治療件数など)の多寡によってランク付けされており、肝心なその中身(＝「治療の質」)について言及したものは皆無といっているでしょう。

今回の卓話では、どうすれば科学的にがん治療の「質」を評価できるかということ、そして医療の質を上げるにはどうすればよいかということについて、わかりやすくお話しして頂けるものと思います。

(終了予定)14:45

## 懇親会及び122期歓迎会

六稜会館3Fホール

15:00 参加費 5,000円(但し事前払込は4,500円)

66期(S29卒)以前と、122期(H22卒)の方は、参加費無料です。

(終了予定)16:30 幹事期:91期

【お願い】ご出席の方は、同封の返信はがきをお送りください。

## 六稜会報 No.55

広報委員会 壽榮松正信(74期)  
作山 倫子(88期)  
安井 昌子(88期)  
尾辻かおる(90期)  
出口 学(94期)  
松田 典子(95期)  
谷 卓司(98期)  
中嶋 明子(106期)  
北野 美穂(113期)  
尾崎 有紀(113期)  
久保 慶護(117期)

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>  
〒532-0025大阪市淀川区新北野2-5-13府立北野高校内  
tel.06-6306-0374 fax.06-6306-1335  
email.office@rikuryo.or.jp

事務局◎月・水・金(祝日は休)10:00～17:00

発行日 2010年9月1日  
発行 山本雅弘(71期)  
委員長 千種康一(88期)

印刷 株式会社ひかり工房  
〒556-0002大阪市浪速区恵美須東1-10-2  
tel.06-6641-6011 fax.06-6641-6012